

授業名：【選択科目】女性の生き方と社会（正課）

担当教員：羽生有希
時間数：全14回・23時間
開講日：9月24日
曜日・時間：水曜
授業形態：オンデマンド

科目概要：

女性の社会進出がうたわれて久しい現在、男女格差を是正するための法的整備は進みつつあるものの、依然としてライフコースの各段階で女性はさまざまな困難に直面している。この科目では、ジェンダー・フリーの視点から、とくに女性が直面する社会的課題とその背景、またそれらを解決するための方法、歴史上の経験について理解するとともに、自己の意識改革と社会への働きかけの重要性を学ぶ。

到達目標：

- ①女性の社会的地位の歴史とその権利獲得のためのたたかひの歴史を理解できるようになる。
- ②女性が直面する社会的課題とその背景について理解できるようになる。
- ③②を解決するための方法を理解できるようになる。
- ④①②③を「自分ごと」として認識し、その思考の成果を口頭で発表したり文章にしたりできるようになる。

合格目標：

- ①女性の社会的地位に関する歴史を理解できるようになる。
- ②女性が直面する社会的課題について理解できるようになる。
- ③②を解決するための方法を理解できるようになる。
- ④その成果を発表したり文章にしたりできるようになる。

授業概要

回	日	授業内容	授業形態
1	9/24	【イントロダクション】 ・シラバスの内容を詳細に説明する。特に、課題内容や成績評価基準などの単位修得に直接関係する事柄や、どのような姿勢でこの授業を受けていただきたいかといった点について説明する。 ・この科目の到達目標、カリキュラムマップに記載のディプロマ・ポリシーとの対応関係、履修系統図を用いた当該科目の教育課程上の位置付けとその後の履修の流れを説明する。	オンデマンド
2	10/1	【ジェンダー視点から社会を見るために（基本的概念の紹介）】 ジェンダー／セクシュアリティ研究の基本的な概念を概観することで、ジェンダー視点から社会を読み解く必要性について考える。	オンデマンド
3	10/8	【フェミニズム運動と女性学の歴史】 主に英語圏のフェミニズム運動と女性学の歴史について学ぶ。その際、特に他の社会運動との連関に着目する。	オンデマンド
4	10/15	【性的マイノリティの運動の歴史】 主に合衆国の性的マイノリティの運動の歴史について、フェミニズム運動の歴史との交差を意識しながら学ぶ。	オンデマンド
5	10/22	【クィア・スタディーズの出発点】 そもそも「クィア」という言葉がどのような文脈において使われるようになったかを理解した上で、クィア・スタディーズが生まれた背景を学ぶ。	オンデマンド
6	10/29	【初期クィア理論I（J・バトラー）】 初期のクィア理論の代表的な論客であるジュディス・バトラーの「ジェンダーのパフォーマティヴィティ」概念について学ぶ。その際、その概念がフェミニズムの議論にどのように貢献するか特に注目する。	オンデマンド
7	11/5	【初期クィア理論II（E・K・セジウィック）】 初期のクィア理論の代表的な論客であるE・K・セジウィックの「男性のホモソーシャルな欲望」という概念について学ぶ。その際、その概念がフェミニズムの議論にどのように貢献するか特に注目する。	オンデマンド
8	11/12	【初期クィア理論への批判（人種と階級の視点から）】 人種と階級の視点に基づく、初期クィア理論に対する批判とその意義を学ぶ。	オンデマンド
9	11/19	【新自由主義と性の政治（同性婚をめぐる）】 同性婚に焦点を当てて、新自由主義と主流のLGBT運動との共犯関係が女性の生き方にどのような影響を及ぼしうるかを学ぶ。	オンデマンド
10	11/26	【新自由主義と性の政治（戦争をめぐる）】 合衆国での軍隊と戦争の歴史に焦点を当て、新自由主義と主流のLGBT運動との共犯関係が女性や性的マイノリティの生き方にどのような影響を及ぼしうるかを学ぶ。	オンデマンド

1 1	12/10	【障害とジェンダー／セクシュアリティ】 障害とジェンダー／セクシュアリティの交差について、とりわけインターセクショナリティを意識しながら学ぶ。	オンデマンド
1 2	12/17	【反ジェンダー運動の展開とトランスジェンダー排除言説】 反ジェンダー運動と呼ばれる潮流がトランスジェンダーを槍玉にあげながら女性や性的マイノリティの権利を脅かしてきたことについて学ぶ。	オンデマンド
1 3	1/14	【アセクシュアルの視点から社会を見る】 アセクシュアルについての基本的な定義を取り上げたうえで、現代の女性が直面するジェンダー役割や性的同意などのトピックについてどのようにアセクシュアルの視点が役立ちうるか考える。	オンデマンド
1 4	1/21	【授業のまとめ】 女性差別に抗うためにはさまざまな社会規範の重なり合いを理解することが必要であることを、これまでの講義内容を振り返りつつ確認する。	オンデマンド

<評価の基準>

S	A	B	C	D	X
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	－
到達目標を超えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標と合格目標の間にあるレベルを達成している	合格目標を達成している	合格目標を達成できていない	受験資格無、レポート・課題未提出等

<成績評価について>

- ・平常点（ジャーナルの継続的提出）：60%
- ・学期末課題論文（ターム・ペーパー）：40%

- ・この授業は女性の多様な生き方を積極的に擁護することを一つの目的としている。
そのような目的に反して、講師の警告を無視し、ジャーナル等において意図的に差別発言を繰り返した場合、単位を与えない。
- ・ターム・ペーパーに極めて悪質な剽窃があった場合は、ターム・ペーパーの点数だけでなく、単位自体も与えない。
- ・「ジャーナル」とは、授業終了後に授業内容を振り返って書く〈ツイート〉のようなものであり、「授業方法」欄の「リアクションペーパー」に相当するものである。
この課題では、授業で学んだ内容を通じて自分の生活や体験を捉え直すことが望ましい。
- ・ターム・ペーパーはkyonetの課題提出欄で提出していただく予定。
ただし、その内容はいわゆる「レポート」（調べた内容の報告）ではなく、「論文」（調べた内容に基づき、自身の考えを議論として展開すること）でなければならない。